

科目名	アフリカ開発論特講	担当者	モチヅキ 望月 カツヤ 克哉	期間	通年	単位数	4
-----	-----------	-----	-------------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目的	<p>「アフリカ開発」とは、単にアフリカ地域の問題ではなく、グローバル・イシューでもあるという見方が国際社会では支配的でした。そのため、他の国や地域における開発の経験をアフリカ諸国にも適用することで成果を上げようと、国際機関や関係国政府は注力してきました。しかしながら「アフリカ開発」とは、この大陸に暮らす人びとが担うべきものですから、われわれはパートナーあるいはステークホルダーとして、これに関与してゆかねばなりません。本特講では、このような問題意識からスタートして、アフリカ地域における開発課題を文献・資料から理解するとともに、今日的な課題の把握をめざしています。</p>		
到達目標	<p>履修者には、アフリカ地域の開発の現状について正しい認識を獲得してもらうとともに、その歴史的背景の理解も同時に深めることを第一の目標にしています。</p> <p>その上でアフリカ開発をめぐる課題を検証し、アフリカ各国政府の開発努力や国際的支援の在り方について考察することを第二の目標にします。</p>		
学修方法	<p>まず、アフリカ地域に対する見方を新たにするとともに、履修者自身が暮らす日本社会を見るのと同じ目線で問題を捉えることをめざし、それらを歴史的に把握してもらいます。(基本教材1のレポート課題(1)・(2))</p> <p>次に、具体的な開発課題とその克服について考察するために、「平和」と「豊かさ」という課題のカテゴリーを設定し、それらを具体的事例に即して論評することをめざします。(基本教材2のレポート課題(1)・(2))</p>		
スケジュール	<p>レポート提出期限は、原則として『大学院要覧』にあるとおりです。</p> <p>前期(基本教材1のレポート課題(1)・(2))については9月中旬 後期(基本教材2のレポート課題(1)・(2))については1月中旬</p> <p>必ずしもレポート課題(1)・(2)を同時に提出する必要はありません。むしろ、レポート課題(1)を早めに提出して、添削指導を受けたのち、レポート課題(2)に取り組むことが望ましいと考えています。</p>		
成績評価	種別	割合	評価基準
	レポート	70%	<ul style="list-style-type: none"> 基本教材の読解が的確になされているか。 参考図書や、その他の文献・資料が参照されているか。 論考としての完成度(構成、記述内容)が一定水準にあるか。
	平常評価	30%	<ul style="list-style-type: none"> 添削指導への対応のタイミング。 指摘対応が個別、具体的にされているか。
履修者への要望	<p>アフリカ地域の歴史について正しい認識をもつていただくために、基本教材1に関する参考図書として、手軽な歴史に関する新書とともに現代のアフリカを論じた文献を挙げておきました。基本教材とあわせて読んでもらえれば理解が深まると思います。</p> <p>アフリカ開発をめぐる課題の変遷を理解し、そこに横たわる問題を把握するためには、系統的な資料・情報の収集が不可欠です。基本教材や参考図書を手掛かりに、関連文献・資料を検索するよう努めてください。</p>		

【レポート課題】

基本教材 1	
教材の概要	著者名： 峯陽一，武内進一，笹岡雄一編 教材名： 『アフリカから学ぶ』（有斐閣，2010年）ISBN:978-4-64-104986-4 2,300円+税
	アフリカに関心を抱く人びとに学びの契機と材料を提供することを意図して編集された論集で、「歴史の中のアフリカ」、「平和なアフリカのために」、「豊かなアフリカのために」、「アフリカの21世紀—新しい関係をめざして」と題された4部，全15章で構成されているバランスのとれたアフリカ論です。
参考図書	宮本正興，松田素二編 『新書アフリカ史』（講談社，1997年）ISBN:978-4-06-149366-7 1,400円+税 北川勝彦，高橋基樹編著 『現代アフリカ経済論』（ミネルヴァ書房，2014年）ISBN:978-4-623-07172-2 3,500円+税
履修上のポイント	履修者がアフリカ地域の歴史や現状，そして開発課題について正しい認識をもつことを，所期の目標としています。 アフリカ開発の第一義的な担い手がこの大陸に暮らす人びとであり，そこで歴史的に形成されてきた社会集団であることの再認識が最初のポイントとなります。 その認識の上に立って，開発課題である「平和」や「豊かさ」について考察してゆくための準備的な学習を行います。ここでのポイントは，履修者自身の関心にひきつけて取り組む課題を選択し，それを追求してゆく作業です。
レポート課題1	基本教材の第Ⅰ部「歴史の中のアフリカ」を通読した上，3つの章のうち1つを選んで論評する。 留意点： ・A4の用紙2枚程度におさまる分量とするが，様式は問わない。 ・レポート冒頭で当該章の内容を要約する。ただし，分量としては400字以内におさめること。
レポート課題2	レポート課題1で論じたアフリカの歴史的な動きについて，参考図書などを活用しながら，その展開を跡付ける。 留意点： ・A4の用紙2枚程度におさまる分量とするが，様式は問わない。 ・国・地域を特定することはもちろん，人物や事件など具体的事象を挙げて，それらの歴史的展開を論じること。

基本教材 2	
教材の概要	著者名： 峯陽一，武内進一，笹岡雄一編 教材名： 『アフリカから学ぶ』（有斐閣2010年）ISBN:978-4-64-104986-4 2,300円+税
	アフリカに関心を抱く人びとに学びの契機と材料を提供することを意図して編集された論集で、「歴史の中のアフリカ」、「平和なアフリカのために」、「豊かなアフリカのために」、「アフリカの21世紀—新しい関係をめざして」と題された4部，全15章で構成されているバランスのとれたアフリカ論です。
参考図書	川端正久・武内進一・落合雄彦編『紛争解決 アフリカの経験と展望』アフラシア叢書3 （ミネルヴァ書房，2010年）ISBN:978-4-623-05792-4 5,500円+税 大林稔・西川潤・阪本公美子編『新生アフリカの内発的発展 住民自立と支援』龍谷大学国際社会文化研究所叢書15（昭和堂，2014年）ISBN:978-4-8122-1335-3 3,200円+税
履修上のポイント	アフリカ諸国をめぐる開発課題についての理解を深めることが第一のポイントになります。 第二のポイントは，「平和」や「豊かさ」という開発課題について具体的事例に即して考察することです。
レポート課題1	基本教材の第Ⅱ部もしくは第Ⅲ部のいずれかを通読した上，各章で取り上げられているトピックを整理するとともに，各部で論じられている開発課題（「平和」もしくは「豊かさ」）について論評する。 留意点： ・A4の用紙2枚程度におさまる分量とするが，様式は問わない。 ・第Ⅱ部であれば「平和」，第Ⅲ部であれば「豊かさ」が論じるべき開発課題となる。
レポート課題2	レポート課題1で論評した開発課題（「平和」もしくは「豊かさ」）について，参考図書などを活用しながら，具体的な課題克服の取り組みや方策を論評する。 留意点： ・A4の用紙2枚程度におさまる分量とするが，様式は問わない。 ・川端・武内・落合編（2010年）は「平和」の課題を，大林・西川・阪本編（2014年）は主として「豊かさ」の課題を論じた文献である。